

比べると
よく判る!!

ハーフとバンパーの違いを知る!

ハーフの良さを知るには、バンパーを比較するのがイチバン!
ここではデザインから、取り付け法、コスト面など、多角的に比べてみたゾ。

		ハーフ	バンパー	
デザイン	自由度	狭い コレがネック!	広い	ハーフはその面積からデザインに制約があるため、バンパーよりも表現の自由度が狭くなってしまふ。
	流行度	高い	低い	ハーフの基本はシンプルのため、ちょこっと雰囲気を変えたいというユーザーに人気が高い。バンパーはちょっと大袈裟と感じるユーザーが増えているのも事実。
取り付け		被せ型	交換型	純正に被せるハーフはあくまで純正の延長線上にあり、バンパーは大きくイメージを変えやすいのが特徴である。
コスト		安い	高い	コストはパーツの大きさに比例してアップする。
3点エアロ相場	ミニバン	12万円~	15万円~	パーツ代のほかに、塗装代と装着代も別途必要。ショップにより差はあるが、ハーフの装着代が2万5000円~3万円弱、塗装代が5万円~が目安。
	Kカー	8万円~	11万円~	
市場のパーツ点数		○	△	Kカーではバンパーの新製品もあるが、ミニバンでは圧倒的にハーフが市場を席巻している。
注意点		互換性 コレは要注意!	保管場所	ハーフではグレードにより装着できないことがあり、購入は要注意。バンパーは手元に残った純正バンパーの保管場所を確保する必要がある。

ちょっと変えたい
手軽さがウケている!!

ハーフエアロの構造は、下の写真を見てもらえば一目瞭然。最大のポイントは、バンパーエアロが純正とずしたうでの交換となることに対し、ハーフエアロは純正の上に被せる追加型ということだ。バンパーとの細かい差は隣のページを見てもらうとして、ハーフ最大のメリットは見ての通り至ってシンプルなもの。後付け感の薄いエアロではあるものの、ユーザーがいま求めているエアロは、一時代前の派手なバンパーではなく、**純正の物足りなさを**意図に補ってくれるさり気ないエアロだ。つまりそれにはハーフが最適ということ。気軽に楽しめ、純正のスタイルも崩すこともない、大人のためのエアロでもあるのだ。



ちなみにバンパーはこんなエアロです!!

純正バンパー先に追加する被せ型がハーフ!

What's HALF AERO?

ハーフエアロ これがキ・ホ・ン

いまイチバン人気のハーフエアロに急接近。なぜ人気なのか? スタイルの双璧であるバンパーと比較して魅力を徹底検証!



ハーフって
こんなエアロ
とっても手軽!!

01 純正に被せるだけ。取付けも簡単。取り付けも簡単。取り付けも簡単。

02 デザインはシンプル。純正ありきのデザインだから、おのずと見た目はシンプルに。

03 低コストで楽しめる!! バンパーに比べ、パーツ代や装着代は半分程度で済むので経済的だ。

あくまでも
純正の延長
スタイル!

購入時 ハーフはグレードに注意!!

例えばこんな場合...

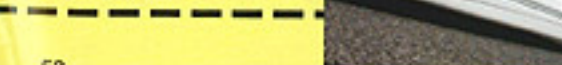
グレード	S	SZ	Z
ハーフ	○	○	×
バンパー	○	○	○

ハーフは純正バンパーの形にあわせてエアロが整形されているため、純正バンパーがグレードごとに形状が異なる場合、そこにエアロの互換性はない。そのグレードごとに専用エアロとなり、場合によって一部グレードにはエアロの設定がないこともままある。購入前に対応の是非は要確認だ。

デザインに制約あり、
シンプルとはいっても
最近ではダクト付きもあるゾ!!

ギモン! ちなみにサイドステップにもハーフはあるの?!

前後スポイラーにはハーフがあるが、サイドステップでは特別なセグメントはない。ハーフとバンパーの両者を手掛けるブランドでは、共通のサイドステップを使うこともたまにある。ただしバンパー用サイドは、バンパー(やドアハンドル)に合わせたボディで成型されている場合もあり、ハーフで多いフロントだけのエアロに、他車のサイドステップを流用する場合は、バランスを考えないとチグハグが目立つことだ。



ハーフといえば、狭いながらもシンプルでどれも似た感じ! と思っているユーザーもいるかもしれないけれど、じつはそんなことはない。最近のダクト入気はハーフにも浸透しはじめており、一部にダクトを設けるブランドがゾクゾク増えている。既製品のハーフにワンオフでダクトを追加するのも、もちろんOK。ダクトひとつで印象は結構変わるゾ。